

# なきごえ



1967



大 阪 市  
天王寺動物園

## 動物の一日

動物園での動物達は、夜はどのようにして過しているのか？ 又、餌はどのようにして与えられているのかといった事について、興味をお持ちの方が非常に多いようでよく質問を受けますので、ここでは主な動物についての一日を御紹介してみます。

ライオン、とら、ひょうのような猛獣類は、朝一斉に運動場に出されて、皆様方にお目見得するのですが、特にライオンは、運動場に出ると活発な動作を示します。雄同志はあいさつがわりに示威運動のように軽い争いをすることがあります。運動場の一巡が終ると、毎日決った場所に横になってしまいます。こうなると何か変わったことがないかぎりなかなか起きません。が何か変わったことがあったときの動作は驚くほど、敏捷です。若いライオンは若い者同志、何にでも興味を持ってよくたわむれます。ときには親ライオンに手を出して、うるさいと叱られる風景がよく見受けられます。夕方4時頃は1日1回の食事の時間であることをよく覚えていて、飼育係の人がいつも来る方をながめては、そわそわします。

餌を運動場で与えるときにかんかになりますので先ず1頭ずつ寝室に入れるのですが、自分の入る寝室は覚えていて順序よくはいります。時には順序を間違ってもめする事もあります。室に入ったライオンは早く餌をくれと室内を、せわしく歩き廻るのが普通です。

餌の肉片をもらおうと逃げないのに爪を立てて両手でしっかり押えつけて、むしゃぶりついて食べます。とらやひょうになると一段とようすが違うようです。特にひょうは用心深くゆっくり食べますが、中には人影がなくなると手を出さないものもいます。

ハイエナ、おおかみも、闘争を防ぐために個室に収容して餌を与えます。これは闘争を防ぐため

だけではなく、1頭の採食量を明確に確認するためです。その他食べ方によって病気を早く発見するのにも役立ちます。又、室内の便を検査することによって、異状を早く知る事が出来ます。

草食獣では、ぞう、さい、きりん、しまうま、大型かもしか類も同様に夜は個室に収容して餌を与えています。特にぞうは夜間にイタズラをしないように足を鎖でくくってから餌を与えます。このように義務づけることは、飼育係と、ぞうとの約束ごとを通じて、親和を保つことにも役立つのです。

たぬきやきつねなどの小動物になると、全部を個室に収容するのには、室数が足りませんので同居させています。餌はけんかをしないように、なるだけ広くばらまきます。もし夜間、けんかをしても、私達が入って仲裁をする事も出来ません。

話は少し違いますが動物園では野犬の肉を与えているのではないかという質問を受けるばかりでなく、野犬をつかまえたから餌にしてくださいと、とんでもない事を言って来られる方があります。肉食獣には肉食獣共通の病気があります。日本のおおかみも犬のジステンパーがまんえんしたために、絶滅したのではないとも言われています。ですから動物園では、と場で検査を受けた牛や馬、又は鯨肉を使っており、けっして犬の肉を与えるような事はありません。

(松岡 惠爾)

### なきごえ 7月号もくじ

動物園の一日.....	2
飼い方シリーズ(小わにの飼い方).....	3
動物園グラフ(しゅばしこうの人工ふ化).....	4, 5
ペットを訪ねて.....	6
動物園ニュース.....	7

## 飼い方シリーズ(第18回)

### 小わにの飼い方

街の熱帯魚屋さんの店頭に、よく小わにを飾っているのを見受けますね。見た目はなんとなく異国的で、興味をそゝられ、立ちどまってのぞいてみたくなります。こんな動物を一度飼ってみようと思う方に、こゝで、一般的な小わにの飼い方をお知らせしましょう。

わにには、アリゲーター、クロコダイル、カイマンなど、現存する種類は世界に約21種類あり、熱帯及び亜熱帯地方の川や沼にすんでいます。熱帯魚屋さんの店頭に出ているわにの多くはアリゲーターのようです。

まず、小わにを買う時期はなるべく夏先がよろしい。熱帯魚屋さんで説明をよく聞き、そのわにの好む餌や管理の仕方を早くのみこむことです。

小わにを飼うのにまず大切なのは水で、飲み水と共に生きていくために必要なのです。家庭でよくバット(金魚や熱帯魚用の水槽)の中に、わにが浮く位に水を入れて飼っておられるのを見かけますが、そんなに多く水を入れる必要はありません。バットの中にわにの体がつかる程度の深さの水と、陸がわりに休む石を入れてやります。砂や小石を底に敷くと、餌の肉片についてわにの胃に入り、消化障害を起しますので、入れない方がよろしい。水はなるべく清潔に保つように心がけないと餌の残りや糞などで、水が腐りやすく健康によくありません。

わには変温動物で、生活している環境の温度が低くなれば、新陳代謝も少くなり、そこで、一年を通じて気温も水温も25~30度Cぐらいに保つと最もよろしい。しかし、冬の間は、室内でも気温がかなり低くなりますので、水温だけを適温に保つように熱帯魚用のヒーターを入れれば、餌をたべて元気に育ちます。

水温も30度C以上にもすると、陸に上ったとき、寒さのためかえって死なせることもありますので御注意下さい。

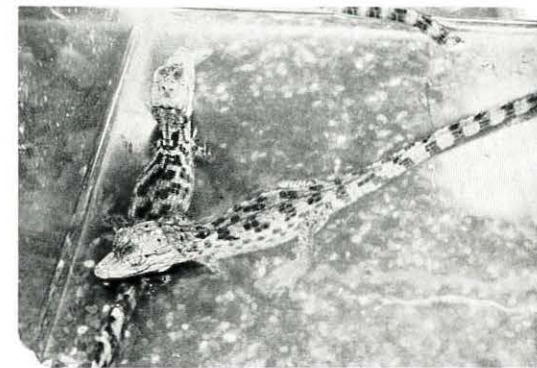
わには肉食で、獣肉、魚肉、などを食べます。店で買うときによく食べているものを聞いてお

き、元気なものを選ぶことです。個体によりなかなか餌を食べないで差し餌をしなければならぬことがあります。

餌の与え方は、わにの口の横から与えるようにしましょう。

バットのまゝ日光浴をさせることも大切です。たいへん簡単に飼える動物ですが、大きくなると飼育水槽もだんだん大きくしていくようにして下さい。

(米田 敏光)



### 表紙の写真説明

大きくなって元気に飛びまわるヨーロッパののりのひな。人工ふ化と育すうに成功したものです。

# 動物園グラフ

“ヨーロッパこうのりの人工ふ化”

今年で4度目の4生、6コの産卵の内、自然、人工ふ化を各々3コ宛、試みました。

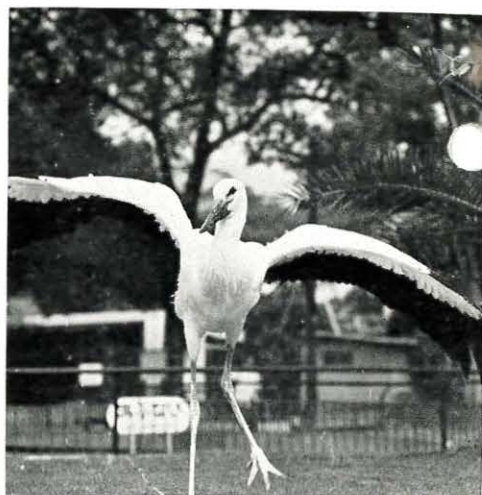
幸い自然ふ化で2羽、人工ふ化で1羽がかえりました。将来の人工増殖を目指し今年ではテストケースとして人工ふ化の1羽の成育に飼育係員は献身的な愛情をそそぎました。ここに育ちゆく姿を集めました。



① 5月4日  
「赤ちゃん誕生」  
(入卵日4月8日)

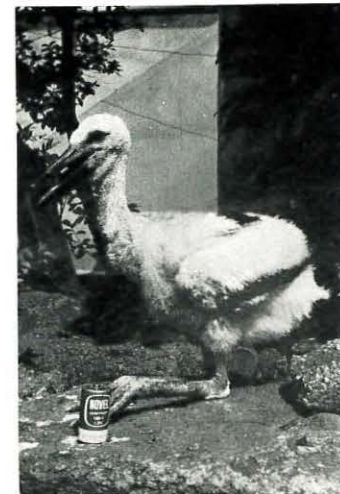


② ふ化後3日目  
産衣につつまれたひな。



⑩ ふ化後35日目  
手前は一しょに育てられた「ごいさぎ」のひな。(6/8)

⑫ ふ化後50日目  
背の高さは親と変らない程成長、7月中旬頃には盛んに飛び廻ることでしょう。(6/25)



⑩ ふ化後約1カ月目  
(6/1)



⑨ 温度はヒヨコ電球で22度位に保ちます。



⑧ 水はこうしてポンプで与えます。(6/1)

⑥ ミただいま食事中、ドジョウ、アジ、フナの「こまぎれ」を1日7~8回与えます。



⑦ ふ化後22日目 ↑  
体重 1.4キロ (5/26)



③ ふ化後7日目  
5月1日にふ化した「ごいさぎ」と共に (5/11)



④ ふ化後14日目 (5/18)



⑤ ふ化後21日目  
羽は白色、嘴は黒。脚は淡黄色 (5/25)



- 12 くらかもしかのめすが、十二指腸に穴があいて死亡しました。胃の中にはたくさんのビニールやポリエチレンの袋が見つかりました。
- 15 とからうまがしまうま同様痲痺で死亡しました。
- 16 今年もアイスランドからきんくろはじろの卵など30個をとりよせ電気ふ卵器に入れました。
- 18 長い間一時収容室にいたきのぼりカンガルー3頭は新鶉鶏舎の一室を改造して展示を始めました。
- 19 ライオンのめす同志が大げんかして1頭が大げんかをしてしまい

- ましたので、治療しています。
- 21 ししおざるがおいしいことに死産しました。
- 24 とびかもしかの赤ちゃんが生まれました。
- 27 梅雨どきに発生しやすい蚊やのみ、ダニを予防するためこの日一斉に動物の寝小屋に動力噴霧機を使って殺虫剤をまいてやりました。

## 6月 動物園日記

- 6/1 バーバリーシープと同居していたとからうまの夫婦が、バーバリーシープのおすの角にひっかけてられて大げんかをしてしまいました。
- 2 新しい鶉鶏舎が北園に完成しましたので、きじたちのひっこしを行ないました。
- 4 ミむし歯予防デーのこの日、阪大歯学部が、園内で、入園者

- の歯の無料検診を行ないました。チンパンジーやライオンの赤ちゃんも受診して、むし歯予防のPRに協力しました。
- 5 妊娠中のしまうまのめすが便秘痲(おなかに糞がたまっておなかいたを起す病気)で手当のかいなく死にました。えぞしかに赤ちゃんができました。
- 6 病気で入院加療中のヨーロッパおおかみは無事退院しました。
- 8 夏を思わせるような晴天続きなので、ペンギンの池や、かもしか放飼園、さるのアパートなどによしずを張ってやりました。
- 10 今年第1番目のにほんしかの赤ちゃんが生まれました。

# ペットを訪ねて

## リスの赤ちゃん

阿倍野区王子町4-1  
阪南団地8-201  
黒田るりさん

近ごろは大変なペットブームで、先日もデパートで開かれた動物のバーゲンセールが大賑い、オタマジャクシから「ぞう」まで引っ張りだこの盛況だったそうです。このように動物愛好家が増えることは大変嬉しいことですが、一面飼う事によってむしろ虐待にならないように心掛けねばならないと思います。

さて、ペットとして、しまリスを飼っている方も沢山ありますが、正しい飼育法や繁殖法を知らずに飼っておられる方が多いのではないのでしょうか

お訪ねした黒田さんのお宅では、過去4回も子リスを生ませ育てられた経験豊富な方で、しまリスのいろいろを聞いてみました。

「百貨店で3年前に、オス、メスの一番を買求め、早速インコを入れる四角い金網籠(ヨコ55センチ×タテ31センチ×ハバ32センチ)にカマスを敷いて小鳥用の壺巣を2コ入れました。エサはハマワリの種子、麻の実、ハトのエサ(配合飼料)エンドウ、リンゴ、ミカン、イチゴ、スイカ、キャベツ、サツマイモ、にんじん、リンゴの種子(特に好む)ピーナッツ、クルミ、チーズ、小魚などいろいろなものを与えました。他に牛乳や水も喜んで飲みます。最初のころは警戒してか、中々なれず食欲もなくどうしたものかと心配でしたが、その内だんだん環境になれ、籠の中で盛んに運動するようになりました。こうなるまでに9カ月かかったと思います。」

動物を飼育する場合、先ず安心させることが先決問題です。黒田さんが根気よく注意深く飼育しながら環境になられたことが今日の成功の因になったものといえましょう。こうして過去4回の繁殖に成功された訳です。

購入日	昭和39年12月31日	1番
第一回	昭和41年5月11日	6匹生産
第二回	" 41年8月3日	3匹 "
第三回	" 42年3月5日	6匹 "
第四回	" 42年5月25日	7匹 "

このように1番の親から1年に3回分産し、合計15匹内外の子リスが生れることになりました。しかし、ただ籠に入れ、エサを与えるだけでは成功しません。日常いろいろな配慮と苦心がいる訳です。

「しまりすはどちらかといえば冬より夏の方が難しく、特に夏は直射日光の当たらない風通しのよ

リスと黒田さん



い涼しい窓辺に置き、特に暑い日には扇風機を一日中掛けっぱなしにしたりします。又、タライに水を張って浸けてやると喜んで水浴もし、氷をタオルに包んでおいてやると気持ちよさそうに体をひっつけて涼をとります。ときどき室に離して運動させることも必要です。」

このようにリスの身になってお世話しておられるからこそ赤ちゃんも誕生するのでしょう。

「壺巣は入れるとすぐ壊しますので2カ月に一度位で取替えます。お産が近づくと気が荒くなり、輪を回したりするのが緩慢になり、巢の中に閉じこもることが多くなります。生まれると子供のなきごえで判ります。のぞいたり、さわったりすることは絶対いけません。ただソツとしておいてやればよいのです。10日位たつと子供は巢から出たり入ったりします。そして2カ月もすると親と交わらない位に成長します。ただ子供の目は小さく親の目が大きいので見分けがつかず。この時期に子供だけ別居させます。リスが共喰いするのは主にこの時期でこの防止法としてラジオをつけっ放しにして注意をそらしたり、噛む木を入れてやったりしていますが、この現象は一時的なものだと思います。こうして別居した子供のオリは何しろよく運動するので、充分運動できるようにしてやる必要があります。室の中に1日1回位は離してやるとか、金網籠の周囲に鉄線の横サンをつけると、籠の周囲をグルグル走り回ります。又、籠の真ん中にタオルをつると喜んで遊びます。」

このように動物はすべてオモチャを与えることが一番良いことだと思います。よいオモチャを考えることの出来る人は立派な飼育者といえましょう。

こうして今までに生れたリスたちは動物園や近所にもらわれて行き、皆、元気で毎日を送っているそうです。

「ただ、毎日の世話が必要なので、夏休みだからといって一家揃って休みがとれないのが困ります」と楽しそうに語られる黒田さんも苦笑しておられました。(中川道朗)

# 動物園ニュース

## ☆ 出産ブーム



みどりぎの赤ちゃん

春から初夏にかけては、動物たちのおめでたラッシュです。動物園では、先月号に紹介しましたライオンの赤ちゃん、いのししの赤ちゃんについて、6月にはみどりぎ、くろかもしか、とびかもしか、にはんしかなどに赤ちゃんが生まれました。それに、きじ類のひなもたくさんふ化しています。さらに、7月に入ると、きりん、オリックス、とら、ピューマ、はなしか、あしかしまととからうまの雑種などのおめでたが控えています。



とびかもしかの赤ちゃん

## ☆ 新設動物舎の御紹介

◎ 冷房 ペンギン舎



かもしか園のすぐとなり工費1200万円の新設されました。部屋は従来の約3倍の広さで、ペンギンがゆったりと夏をすごせるように設計されています。現在キングペンギン5羽をはじめ5種11点のペンギンがここで涼しく夏をすごしています。

◎ きじのアパート



高速道路の予定地になったので、南園のきじ舎がとりこわされ、新しく北園に新設されました。全長80mにおよぶ大きなもので、部屋数は26部屋大きなフライングケージが1カ所あります。ここには世界中のめずらしいきじの仲間が集められています。

## ☆ しろくまに氷のプレゼント



寒い北極から大阪の良子のみなさんにお目見得して2年目。暑い日本の夏も2度目というもののやはり体にこたえるのかぐったり。

そんなある日、大阪のある製氷会社からたくさん氷のプレゼントが届けられました。さっそくプールに入れてもらってふるさと氷の海をのんでいました。

なきごえ 昭和42年7月15日発行（毎月1回15日発行）第3巻第6号（通巻26号）

大阪市天王寺区玉水町2

編集人／和田辰巳 発行所／社団法人大阪市天王寺動物園協会

電話 大阪 771-8401

定価 40円

